

家計管理・生活設計のツボ

第2回

未来を描こう! 家族のライフプラン30年

結婚、出産、入学、住宅購入などのライフイベント、趣味やレジャーなどの楽しみ。人生にはいろいろな節目がありますが、たいいていことにはお金がかかります。「ライフプラン表」を活用して、人生を長期的な視点で見られるようになると、自分の目標も家族の夢も実現しやすくなります。

- ツボ1** 自分と家族が迎えるイベントとかかる費用がひと目でわかる
- ツボ2** 時間的ゆとりをもって資金の準備ができるので夢の実現に近づける
- ツボ3** 家族で未来を語り合いイベントを共有することで絆が深まる

30年間の未来を描く「ライフプラン表」で家族の夢をより多く実現

みなさんが人生の中で実現したいことはどんなことでしょうか。理想の結婚式を挙げたいと考えるカップルもいるでしょうし、結婚後、マイホームの夢を描いている夫婦もいるでしょう。また、海外旅行に行つて思い出を作りたいという家族の夢もあれば、留学や資格を取得してステップアップしたいという個人の夢もありますよね。

けれど、漠然と夢を描いているだけでは、ライフイベントの直前になって慌てたり、資金不足で夢をあきらめたりといった結末になりかねません。後悔しないためには、ライフイベントがいつ起こるのか？ いつどんな夢を実現したいのか？ それぞれにどの程度資金が必要なのか？などをあらかじめ把握して「見える化」しておくことが大切。そのために役立つのが「ライフイベント表」です。ライフイベント表とは、自分と家族の「これから」を書き出した、いわば「家族の未来年表」です。今回は、その作り方を紹介していきます。

「ライフプラン表」作りはみんなで楽しみながら

ライフプラン表を作成することによって、いろいろなことが見えてきます。例えば1〜2年後の短期的な状況だけでなく、「長男が中学校にあがるとき、ほかの家族の状況がどうなっているか」といった、数年後の状況が「見える化」できます。また、自分だけでなく、家族全員の未来を長期的に俯瞰できるので、出費が集中する時期への備えも計画的に進めることができます。

もちろん、すべてが計画通りに実現するとは限りませんが、ライフプラン表に書き出すことで、漠然と描いていた「夢」がはっきりとした「目標」に変わり、実現に向けて具体的に動きだす原動力にもなります。ライフイベント表は、家族で一緒に作成することがオススメです。結婚間もないカップルなら、先々の夢を共有することで「これから一緒に新しい家庭を作っていく」という決意を新たにできますし、お子さんのいるファミリーなら、みんなでワイワイ記入する過程で、互いに何を考えているかが分かり、絆が深まるかもしれません。

このとき、学費や住宅資金のよ
うな必須項目だけでなく、旅行
やペットの購入といったお楽しみ
プランも盛り込んでいくと、日々
の生活がもっと楽しくなります。
「3年後にみんなでハワイに行く
には毎月いくらずつ貯めたらいい
かな？」といった会話をしながら
進めると、お子さんの金銭教育に
もつながるのではないですか。
また、1度作成したらそのまま
にするのではなく、状況の変化に
合わせて、定期的に見直すとい
いましょう。

夢を実現するために「どう貯蓄するか？」も考えて

実際にライフプラン表を作つてみると、いろいろなことに気づきます。

住宅を購入するのに、ローンの返済期間を考えると、案外時間的な猶予がないことに気づくこともあるでしょう。子どもたちの成長に伴って教育費はもちろん、食費や光熱費なども増加するので「たくさん夢はあるけれど、優先順位を付けなければいけない」と気を引き締めたり、中年期以降の人が「まだまだ先だと思っていたけれど、そろそろ老後資金の準備をしないといけないな」と考え始め

ライフイベント表									
	西暦	家族全体	イベント内容						必要な金額
			夫		妻		長男		
			年齢		年齢		年齢		
現在	2014年		33		30	育休中	0	誕生	出産準備金20万円
1年後	2015年	車買い換え	34		31	職場復帰	1	保育園入園	入園準備金10万円/ 車代200万円
2年後	2016年		35	ホノルル マラソン出場	32		2		旅費15万円
3年後	2017年	家族旅行 (国内)	36		33	資格試験 勉強開始	3	七五三	七五三5万円/ 妻スクール代25万円/ 旅費10万円
4年後	2018年	家族旅行 (国内)	37	係長昇進	34		4		七五三10万円/ 旅費10万円 ※世帯年収40万円UP
5年後	2019年	住宅購入	38		35	社会保険労務士 資格取得			住宅購入費3500万円 (頭金1500万円)/ 資格登録費30万円
6年後	2020年	家族で ハワイ旅行	39	ホノルル マラソン出場	36	転職		学費は私立、 公立の両方を想定して おくとベター	旅費50万円
7年後	2021年	家族旅行 (国内)	40				7	公立小学校入学 /七五三	入学準備金10万円/ 七五三10万円/ 旅費10万円
8年後	2022年	家族旅行 (国内)/ ペット購入 (犬?)	41				8		旅費10万円/ ペット購入費20万円
9年後	2023年	家族旅行 (国内)	42				9		旅費10万円
10年後	2024年		43		40	独立開業	10		開業準備金、 運転資金50万円
11年後	2025年	家族旅行 (国内)	44		41		11		旅費10万円/ 塾代30万円
12年後	2026年		45		42		12	中学受験	塾代、受験料40万円
13年後	2027年		46	課長昇進	43		13	公立中高一貫校 入学	入学金・準備金20万円 ※世帯年収50万円up
14年後	2028年	車買い換え	47		44		14		車250万円
15年後	2029年		48		45		15		
16年後	2030年	家族でアメ リカ旅行	49	ニューヨーク マラソン出場	46				旅費60万円
17年後	2031年		50		47			短期留学	滞在費用50万円
18年後	2032年		51		48			大学受験	塾代、受験料50万円
19年後	2033年		52		49		19	国立大学入学	入学金・準備金100万円
20年後	2034年		53		50		20		
21年後	2035年		54		51		21		
22年後	2036年		55		52		22	就職活動、卒論	就職活動準備金20万円
23年後	2037年	銀婚式/ 夫婦旅行	56		53		23	就職	独立応援金50万円/ 旅費60万円
24年後	2038年		57		54				
25年後	2039年	住宅 リフォーム1	58		55			就職を機に ひとり暮らしをさせ、名実ともに 別会計にしてみても?	リフォーム代金100万円
26年後	2040年		59		56				
27年後	2041年	夫婦で ヨーロッパ 周遊旅行	60	定年退職	57				旅費80万円 ※退職金2500万円
28年後	2042年	車買い換え	61	再雇用	58				車代200万円
29年後	2043年		62		59		29	結婚(?)	結納金・準備金100万円
30年後	2044年	住宅 リフォーム2	63		60	養老保険満期	30		住宅ローン完済 ※妻養老保険1000万円 /リフォーム代100万円
31年後	2045年		64		61		31		
32年後	2046年		65	退職	62		32		
33年後	2047年		66	ボランティア 活動	63		33		夫年金支給開始

健康保険から「出産一時金」42万円が支払われます

ることもあるでしょう。そして大切なのは、こういった気づきを実行につなげていくことです。例えば、保険が家族に適したプランとなっているか見直してみたり、大学卒業までに必要な

学費が一人当たりいくらなのかを実際に調べた上で、積立貯金を始めたり、家計管理や資産形成について本やセミナーなどで勉強することも良いのではないのでしょうか。

こうした将来の「見える化」とそれに備えた行動を積み重ねていくことで、家族の夢はいつそう実現に近づいていくことでしょう。金融広報中央委員会では、夢に向かつて生活設計に楽しく取

り組める計画表「生活夢プラン」を刊行しているほか、ホームページ上では、将来の暮らし向きをシミュレーションできる「生活設計診断」を提供していますので、是非ご利用ください。

マイホーム購入はローン完済時の年齢も考慮して検討を

自宅開業ならワークライフバランスも実現しやすそう

国立大学の場合、初年度納付金30万円、授業料60万円が平均

住宅が傷むのはまずエクステリアから。第1期で屋根と外壁の修繕、第2期で水回りリフォームをするなど計画的に

就職を機にひとり暮らしをさせ、名実ともに別会計にしてみても?

親からの結婚資金援助額は新郎新婦合わせて平均183万円

■参考HP

知るぽると：生活設計診断
http://www.shiruporuto.jp/tool/sindan/
知るぽると：刊行物紹介
http://www.shiruporuto.jp/about/siryu/book/
日本FP協会：ライフプランとお金
https://www.jafp.or.jp/about/personal_finance/files/Lesson10.pdf

【作り方の手順】

- ①今からリタイアまで1年きざみで作成。だいたい30年前後の家族の未来が見渡せます。
 - ②家族全員の欄を作成して、1年ずつ、それぞれの年齢を記入していきます。
 - ③ライフイベント欄は、自身と配偶者の方の仕事上の転機(転職、独立、昇進、退職)から記入します。次に“人生の3大支出”[教育・住宅・老後]に伴うイベント(子どもの進学、住居購入、リフォーム、ご自身と配偶者の年金支給開始年齢など)を記入します。また、車の購入・買い替えや資格取得、家族で楽しむレジャーや趣味の計画など、楽しいイベントも計画にいれておけば実現に意欲が出ます。
 - ④ライフイベント欄を記入したら、それぞれにかかる金額を記入します。
- ※Excelなどの表作成ソフトで作成すれば、保管も修正も簡単なのでオススメです。